

Ⅱ-1 子どもの顔を見て話していますか

エピソード

4歳の勇太くんは今日保育園であったことをお母さんに一生懸命話しています。

給食に出た大嫌いなピーマンを頑張って食べたこと、友達としたセミ取りが楽しかったこと……。でも、お母さんは夕飯の準備で忙しく背中を向けたまま「うん、うん」と返事だけをしています。

お母さんは、早く勇太くんに夕飯を作って食べさせ、お風呂に入れて寝かせなければと焦っているのです。生活のリズムが不規則になり勇太くんが体調を崩せば、お母さんは仕事を休まなければなりません。勇太くんの病気のために急に仕事を休むことで、周囲からの信用を失うことがこれまでも度々ありました。

時計を気にしながら夕飯を作っているお母さんは、勇太くんのおしゃべりにイライラ。「勇太、おもちゃは片付けた?」とか、「お手伝いしてね」とは話し掛けますが、勇太くんの問いには相変わらず背中を向けたまま、「うん、うん」だけしか答えません。ついに勇太くんに「ねえ、お母さん、僕の話聞いている?!」と聞かれたお母さんは、「今はお話は無理!」と断ってしまいました。



Work①

「勇太くん」「お母さん」役に分かれてこのエピソードをロールプレイで体験しましょう。

Work②

それぞれの立場になったとき、どんなふう感じたかを書いて発表しましょう

勇太くん



お母さん



Work③

ロールプレイや他のグループの発表を聞いて、感じたことやこれからやってみようと思うことを書きましょう。



アドバイス

大人でも子どもでも、自分に関心をもって話を聞いてもらうのはうれしいことです。手が離せず向き合えないときもありますが、「あとで」ではなく、「ご飯を作ってしまうまで待ってね」と具体的に話すことができます。たとえ短くても、ちょっとだけ家事の手を休めて“子どもの話をしっかり聞く時間”を確保してみましょう。子どもの話をしっかり聞くことは子どもの心を育てるだけでなく、親にとってもいろいろな発見や楽しみがあります。子どもとの会話を楽しんでみてください。



資料

言葉以外のコミュニケーションがとても大切です



子どもは親からの言葉以外の表情や声の調子なども感じながらコミュニケーションをしています。